

薬剤名 ○○○乳剤
 県名 ●●県

作物 **ダイズ**
 実施場所 ○○普及センター(○○市)

土質土性 **火山灰・埴壤土**

品種 □□□□
 作型 **畦畦栽培**

耕起日 **平成○○年5月27日**
 播種日 **平成○○年6月1日**

圃場 (面積)	処理 回数	薬剤名 薬量(水量)(/10a)	処理日 移植後日数	処理方法、 処理時土壌の乾湿	作物生育程度	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)
確認圃 (16a)	処理 1回目	□□□乳剤 400mL(100L)	6月3日 (+2)	乗用管理機(全面土壌散布) 適湿	播種後 出芽前	未発生
	処理	○○○液剤 200mL(100L)	7月12日 (+41)	乗用管理機(全面茎葉散布) やや乾	6~8葉期	イヌビエ6cm、シロザ10cm、スベリヒユ5cm、 イヌタテ8cm、ナスナ5cm
慣行 (16a)	1回目	□□□乳剤 400mL(100L)	6月3日 (+2)	乗用管理機(全面土壌散布) 適湿	6~8葉期	未発生
	処理 2回目	●●●乳剤 250mL(100L)	7月12日 (+41)	乗用管理機(全面茎葉散布) やや乾		
	処理 3回目					

対象薬剤以外の除草剤の処理についても記載する。

処理時土壌の乾湿: 乾・やや乾・適湿・湿 の4区分

乾物重、生体重のいずれかを記載する。

圃場	除草効果 (残草量g/m ²) 生体重							雑草調査日: 7月30日 (処理18日後)	総計 下段()は慣行区比	薬害 症状・程度	収量比 対慣行	評点
	イネ科一年生			広葉一年生								
	イヌ ビエ			シロ ザ	スベリ ヒユ	イヌ タテ	ナス ナ					
確認圃	1.9			0.8	0.9	2.8	1.1		7.5 (93%)	なし	100%	A
慣行	3.2			0.3	0.5	3.2	0.9		8.1 (100%)	なし	100%	

総計
上段:残草量
下段:慣行区比

無処理区での発生雑草(発生程度):
イヌビエ(多)、メヒシバ、シロザ、スベリヒユ、イヌタテ、ナスナ
 備考(特記事項等):

発生量が多い場合は(多)を記載する。

備考:
 残草が多い場合、問題となる薬害が発生した場合は詳細を記載する。
 気象条件、水管理、雑草発生状況等で通常と異なることがあれば記載する。
 農家のコメントがある場合は記載する。